

イネいもち病「圃場抵抗性」は 本当に持続的なのか？

～ 抵抗性に関与する遺伝子の最新知見から抵抗性の持続的利用戦略について考える ～

2013年

日時 **11月11日(月)**

13:00-17:00

場所 **つくば国際会議場 中ホール**
(茨城県つくば市竹園2丁目20番3号)

講演

◆圃場抵抗性遺伝子とそれに対応する非病原力遺伝子の最新知見

- ①優性圃場抵抗性遺伝子 *Pi35*・*Pb1*
林 長生 (農業生物資源研究所)
- ②優性圃場抵抗性遺伝子 *Pi34*
善林 薫 (農研機構東北農業研究センター)
- ③非病原力遺伝子 *AVRPI34*・*AVRPI35*
安田伸子 (農研機構中央農業総合研究センター)
- ④侵害菌の拡散抑制のためのリスク分析
鈴木清樹 (農研機構中央農業総合研究センター)

◆イネの病害防御機構に対する病原菌の攻撃を回避するタイプの圃場抵抗性

- ①劣性圃場抵抗性遺伝子 *pi21*
福岡修一 (農業生物資源研究所)
- ②植物病原菌が劣性遺伝子を侵害しない理由を考察する
戸澤武人 (農研機構中央農業総合研究センター)

◆圃場抵抗性品種の普及にむけて

- ①圃場抵抗性の導入系統・品種について
吉田朋史 (愛知県農業総合試験場山間農業研究所)
- ②長野県における抵抗性利用
高松光生 (長野県農業試験場)

総合討論

— 圃場抵抗性遺伝子をより持続的に利用するために —

参加申込み

●事前の参加申込みをお願いします。申込方法は、農研機構ホームページをご覧ください。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2013/10/048726.html>

●参加無料

●申込み締切：10月31日(木) 定員150名

お問い合わせ先

農研機構東北農業研究センター
産学官連携支援センター
e-mail : sangaku@ml.affrc.go.jp
電話 / FAX : 019-643-3460

主催 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構